

FISCガイドラインサーチのご紹介

2024年8月
公益財団法人 金融情報システムセンター
監査安全部

1. FISCガイドラインサーチの概要
 - (1) FISCガイドラインサーチとは
 - (2) FISCガイドラインサーチの主な機能と概要
2. 操作方法
 - (1) ログイン
 - (2) メニュー画面
 - (3) ガイドライン一覧
 - (4) 検索
 - (5) ダウンロード
 - (6) 検索結果CSV出力
 - (7) 印刷
3. ご利用にあたって
 - (1) ご利用可能時間
 - (2) 推奨環境
 - (3) 注意事項
 - (4) 問い合わせ先
 - (5) FAQ

(1) FISCガイドラインサーチとは

「FISCガイドラインサーチ」は、[Web上で安全対策基準、システム監査基準等のFISCの各種ガイドラインを簡単に参照・検索・出力できる機能を備えたシステム](#)です。

金融機関等のシステムの安全対策に関わる方々の支援ツール(チェックリスト作成他)として広く活用いただけるものです。従来の「FISCガイドライン検索システム」をリニューアルし2022年9月に新規公開しました。

2022年9月に公開後、多くの方に利用していただいておりますが、ご利用者の利便性向上を図るため、2024年8月に画面レイアウト改善と機能改修を行っています。

(2) FISCガイドラインサーチの主な機能と概要

- FISCガイドラインサーチでは、ガイドラインの閲覧、検索、印刷、帳票ダウンロード、検索結果のCSV出力の機能を提供しております。
- Webでの提供となり、利用は24時間365日可能（メンテナンスのための停止はあり）となっております。
- インターネット接続環境とID・パスワードさえあれば、在宅勤務時などでもご利用いただけます。

機能名称	概要
ガイドライン一覧	<ul style="list-style-type: none"> ● 選択したガイドラインの目次を表示し、目次から選択した文書を表示します。 ● 閲覧している文書を印刷することができます。 ● 閲覧している文書に関連する他のガイドラインの文書へリンクして閲覧することができます。
文字検索	<ul style="list-style-type: none"> ● 選択したガイドライン(単一又は全て)から、入力されたキーワードを含む文書を検索して、検索結果を表示します。検索結果の文書上では、入力したキーワードが強調表示されます。
印刷	<ul style="list-style-type: none"> ● ガイドライン一覧、文字検索で画面表示した文書を印刷します。
帳票・関連表ダウンロード	<ul style="list-style-type: none"> ● 各ガイドラインの基準項目等の一覧、関連表などをExcel形式でダウンロードします。
検索結果のCSV出力 (2024年8月に追加)	<ul style="list-style-type: none"> ● 文字検索の出力結果をCSV形式でダウンロードします。

2. 操作方法

(1) ログイン

- ① FISCホームページ「刊行物・レポート」メニューから「FISCガイドラインサーチ」をクリック。
- ② 「FISCガイドラインサーチ」へと進むとログイン画面が表示されます。
- ③ ログイン画面でID・パスワードを入力してください。
 ※URLを指定してトップページを直接表示することも可能です。ブックマークは右記URLをお願いします。

①

②

会員の方
 会員の方は、無料でご提供となります。詳細は、以下のページよりご確認ください。
 (会員の方)利用のご案内

一般(非会員)の方
 ご利用には購入手続きが必要となります。以下のリンクよりご購入の手続きを行ってください。ご購入後にご案内させていただきます。
 (一般の方)ご購入はこちら ご購入後ID/PWをお持ちの方はこちら

FISCガイドラインサーチ

既にご購入済みの方は、以下のリンク先から「共通メニュー」をクリックし、
 FISCガイドラインサーチ

- ③ https://www4.kitei-kanri.jp/ctr/fisc/browse.php?action_index&public_d=1

FISC FISCガイドラインサーチ

ログインID:

パスワード:

ログイン

2. 操作方法

(2) メニュー画面

① 機能メニューからご利用になりたい機能を選択してください。

② 終了時はログアウトボタンをクリックしてログアウトしてください。

③ FISCロゴ、FISCガイドラインサーチロゴをクリックするとメニューが表示されます。

④ 更新情報、システムの停止などのお知らせはこちらに掲載します。

③ FISCロゴ、FISCガイドラインサーチロゴ

② ログアウト

FISC FISCガイドラインサーチ

FISC検証用 (共通メニュー) | ログアウト

ガイドライン一覧
検索

① 機能メニュー

④ お知らせ

お知らせ

- 「金融機関等コンピュータシステムの安全対策基準・解説書 第12版」を掲載しました
- ご利用いただけるガイドラインは以下の通りです (2024年4月現在)
 - ・金融機関等コンピュータシステムの安全対策基準・解説書 (第12版) (2024年3月)
 - ・金融機関等のシステム監査基準 (平成31年3月)
 - ・金融機関等におけるコンティンジェンシープラン策定のための手引書 (第4版) (2024年1月)
 - ・金融機関等におけるコンティンジェンシープラン策定のための手引書 (第3版、第3版追補、第3版追補2、第3版追補3) (平成29年5月)
 - ・金融機関等におけるセキュリティポリシー策定のための手引書 (第2版) (平成20年6月)
 - ・金融機関等におけるIT人材の確保・育成計画の策定のための手引書 (平成30年3月)
 - ・金融機関等におけるTLPT実施にあたっての手引書 (令和元年9月)
 - ・金融機関とAPI接続先のためのAPI接続チェックリスト解説書
 - ・RPA導入にあたっての解説書
- ご利用方法は以下に掲載の利用マニュアルをご覧ください
ガイドライン一覧>利用マニュアル>FISCガイドラインサーチ利用マニュアル

2. 操作方法

(3) ガイドライン一覧 (画面表示)

- ① 各ガイドラインの目次がツリー形式で表示されます。
- ② 目次で選択したページの属する階層が表示されます。
- ③ 目次で選択したページが表示されます。
- ④ 関連する他のガイドライン文書がある場合は下部に一覧で表示されます。
※ガイドラインによって表示形式が異なります。
- ⑤ 検索画面ボタンを押下すると検索画面に遷移します。

FISCガイドラインサーチ
FISC検証用 (も通メニュー) | ログアウト

● ガイドライン一覧
【検索画面へ】

表紙

第12版の公表に当たって

目次

第1編 「金融機関等コンピュータシステムの安全対策基準・解説書」(第12版)の公表について

第2編 「金融機関等コンピュータシステムの安全対策基準・解説書」(第12版)について

Ⅰ. 概説

Ⅱ. フレームワーク

Ⅲ. 本書の利用に当たって

Ⅳ. 安全対策基準一覧表

Ⅴ. 統制基準

1 内部の統制

(1) 方針・計画

- 統1 システムの安全対策に係る重要事項を定めた規程を整備すること。
- 統2 中長期的視点に立ったシステムの企画・開発・運用に関する計画を策定すること。
- 統3 システム開発計画は中長期システム計画との整合性を確認するとともに、承認

金融機関等コンピュータシステムの安全対策基準・解説書 第2編 「金融機関等コンピュータシステムの安全対策基準・解説書」(第12版)について > Ⅴ. 統制基準 > 1 内部の統制 > (1) 方針・計画 > 統1 システムの安全対策に係る重要事項を定めた規程を整備すること。

1 内部の統制

適用区分					基準分類
共	セ	本	提	ダ	基礎
◎					

統 1	システムの安全対策に係る重要事項を定めた規程を整備すること。
-----	--------------------------------

システムの安全対策を適切に実施するための組織体制、関係者の役割及び管理すべき事項を明確にした規程を策定すること。また、環境変化に対応するため、策定した規程を適宜改訂すること。

1. システムの安全対策を実行に移すために必要な以下の事項を定めた規程を整備することが必要である。

(1) セキュリティポリシー (基本方針)

全社統一の基本方針として、保護すべき情報資産、保護する目的及び責任の所在を定めたものである。個人情報等の取扱い及びその法令遵守に関する内容が盛り込まれていることが必要である。なお、セキュリティポリシーの策定に当たっては、当センター発刊の『金融機関等におけるセキュリティポリシー策定のための手引書』を参照のこと。

(2) セキュリティスタンダード (自社の安全対策基準)

セキュリティポリシーを実行に移すための具体的な対策を定めたものであり、社内部門別に作成することもある。

2. 当該規程の整備に当たっては、システムリスク管理方針等の上位規程に示された安全対策に係る方針との整合をとることが必要である。

3. 全社 (もしくは全組織) の安全対策の方針及び実施に重大な影響を与える規程の策定及び改訂に当たっては、経営層が指示し、承認することが必要である。

<<関連ガイドラインリンク>>

安全対策基準	統4
安全対策基準	統6
システム監査基準	1-1-A

©2024 FISC All rights reserved

6

2. 操作方法

(3) ガイドライン一覧 (機能説明)

- ① 前後のページを参照することができます。
- ② 表示中の画面を印刷します。印刷用に別タブが開きますので、ブラウザの印刷機能で印刷してください。
- ③ 関連する文書がある場合、リンクをクリックすると該当の文書を表示します。
- ④ FISCロゴ、FISCガイドラインサーチロゴをクリックするとメニューが表示されます。

④ FISCロゴ、FISCガイドラインサーチロゴ

① ページ遷移

② 印刷

FISC FISCガイドラインサーチ

FISC検索 (共通メニュー) | ログアウト

● ガイドライン一覧

表紙
第12版の公表に当たって
目次
第1編 「金融機関等コンピュータシステムの安全対策基準・解説書」(第12版)の公表について
第2編 「金融機関等コンピュータシステムの安全対策基準・解説書」(第12版)について
I. 概説
II. フレームワーク
III. 本書の利用に当たって
IV. 安全対策基準一覧表
V. 統制基準
1 内部の統制
(1) 方針・計画
○統1 システムの安全対策に係る重要事項を定めた規程を整備すること。
○統2 中長期的視点に立ったシステムの企画・開発・運用に関する計画を策定すること。
○統3 システム開発計画は中長期システム計画との整合性を確認するとともに、承認

金融機関等コンピュータシステムの安全対策基準・解説書 > 第2編 「金融機関等コンピュータシステムの安全対策基準・解説書」(第12版)について > V. 統制基準 > 1 内部の統制 > (1) 方針・計画 > 統1 システムの安全対策に係る重要事項を定めた規程を整備すること。

【検索画面へ】
【印刷画面へ】

【前の規程に戻る】 【次の規程に進む】

適用区分					基準分類
共	セ	本	提	夕	基礎
◎					

統 1 システムの安全対策に係る重要事項を定めた規程を整備すること。

システムの安全対策を適切に実施するための組織体制、関係者の役割及び管理すべき事項を明確にした規程を策定すること。また、環境変化に対応するため、策定した規程を適宜改訂すること。

1. システムの安全対策を実行に移すために必要な以下の事項を定めた規程を整備することが必要である。
 - (1) セキュリティポリシー (基本方針)
 全社統一の基本方針として、保護すべき情報資産、保護する目的及び責任の所在を定めたものである。個人情報取扱い及びその法令遵守に関する内容が盛り込まれていることが必要である。なお、セキュリティポリシーの策定に当たっては、当センター発刊の『金融機関等におけるセキュリティポリシー策定のための手引書』を参照のこと。
 - (2) セキュリティスタンダード (自社の安全対策基準)
 セキュリティポリシーを実行に移すための具体的な対策を定めたものであり、社内階層別に作成することもある。
2. 当該規程の整備に当たっては、システムリスク管理方針等の上位規程に示された安全対策に係る方針との整合をとることが必要である。
3. 全社 (もしくは全組織) の安全対策の方針及び実施に重大な影響を与える規程の策定及び改訂に当たっては、経営層が指示し、承認することが必要である。

<<関連ガイドラインリンク>>

安全対策基準	統4
安全対策基準	統6
システム監査基準	1-1-A

③ 関連リンク

(3) ガイドライン一覧 (機能説明)

- 「改訂内容一覧表」など、Excel形式で掲載の一部文書は、閲覧エリアにダウンロード用のリンクが表示されます。
- ファイルをダウンロードの上ご利用ください。

The screenshot shows the FISC Guidelines Search interface. The page title is 'FISC ガイドラインサーチ'. The breadcrumb trail is: 金融機関等コンピュータシステムの安全対策基準・解説書 > 第1編 「金融機関等コンピュータシステムの安全対策基準・解説書」(第12版)の公表について > II. 改訂の結果 > 2. 改訂内容一覧表. The left sidebar contains a table of contents with the following items: 表紙, 第12版の公表に当たって, 目次, 第1編 「金融機関等コンピュータシステムの安全対策基準・解説書」(第12版)の公表について, I. 改訂の概要, II. 改訂の結果 (with sub-items O1. 改訂の範囲 and O2. 改訂内容一覧表), 第2編 「金融機関等コンピュータシステムの安全対策基準・解説書」(第12版)について, (付表), 奥付, 帳票・関連表等, 金融機関等のシステム監査基準, 金融機関等におけるコンティンジェンシープラン策定のための手引書(第4版), 金融機関等におけるコンティンジェンシープラン策定のための手引書(第3版、第3版追補、第3版追補2、第3版追補3). The item '2. 改訂内容一覧表' is highlighted with a red box. A blue arrow points from a text box to this link. The text box contains the instruction: 'Excel形式の文書はタイトルのみが表示されます(文書内容は表示されません)リンクをクリックしてダウンロードの上ご利用ください。'

2. 操作方法

(4) 検索 (画面表示)

- ① 検索条件を入力します。
- ② 検索結果 (件数) が表示されます。
- ③ 条件に一致した文書一覧が表示されます。
- ④ 一覧から選択した文書が表示されます。検索キーワードは、ハイライト表示されます。
- ⑤ 「検索」横の▲・▼で検索エリアの表示/非表示の切替が可能です。
- ⑥ ガイドライン一覧へ遷移します。

The screenshot shows the FISC search interface with the following elements and callouts:

- ① 検索条件入力 (検索エリア)**: The search input field containing the keyword "サイバー".
- ② 検索結果 (件数)**: The text "163件が該当しました。1件目から20件目を表示。".
- ③ 検索結果 (一覧)**: A list of search results, including "次の20件を表示" and a list of document titles.
- ④ 検索結果 (文書)**: The detailed view of a document, including a table of contents and the main text.
- ⑤ 検索エリアの表示/非表示**: The search area toggle button (▲/▼).
- ⑥ ガイドライン一覧ボタン**: The "ガイドライン一覧へ" button.

Search Interface Details:

Search Area: FISC ガイドラインサーチ

Search: ▲ (検索条件を非表示) | ▼ (検索条件を表示)

Search Keyword: サイバー (and / or)

Exclude Words: [Empty]

Search Target: ① 標題と本文 ② 標題のみ ③ 本文のみ

Filter: すべてチェック (checked) | チェックを外す

Filter: 金融機関等コンピュータシステムの安全対策基準・解説書 (checked)

Filter: 金融機関等のシステム監査基準 (checked)

Results: 163件が該当しました。1件目から20件目を表示。

Next 20 items to display:

- 第12版の公表に当たって
- 1. 改訂の概要
- 1. 安全対策基準の意義
- (2) 基準と対策の分類
- ⑥ コンティンジェンシープランの策定
- (2) 安全対策基準において用いる主要用語の意義
- 1. 構成一覧
- 2. 基準一覧
- 統2 中長期の視点に立ったシステムの企画・開発・運用に関する計画を策定すること。
- 統5 サイバー攻撃対応態勢を整備すること。
- 統13 セキュリティ遵守状況を確認すること。
- 統14 セキュリティ教育を行うこと。
- 統21 外部委託先と安全対策に関する項目を盛り込んだ契約

Document Title: 金融機関等コンピュータシステムの安全対策基準・解説書 > 第2編 「金融機関等コンピュータシステムの安全対策基準・解説書」(第12版)について > V. 統制基準 > 1 内部の統制 > (2) 組織体制 > 統5 サイバー攻撃対応態勢を整備すること。

Table of Contents:

適用区分					基準分類
共	セ	本	提	ダ	基礎
◎					基礎

Text: 統 5 サイバー攻撃対応態勢を整備すること。

Text: サイバー攻撃への対応のため、サイバー攻撃対応態勢を整備するとともに、手口の高度化及び巧妙化にあわせて見直すこと。

Text: 1. サイバー攻撃に伴うシステムの停止及び不正な資金移動に対応するために、未然防止策・事前対策、検知策及び対応策を検討し、態勢を整備することが必要である。なお、あらゆるサイバー攻撃を事前に防衛することは難しいため、導入されることを前提とした対応策について事前に検討して

2. 操作方法

(4) 検索 (機能説明)

① 複数のキーワードを含める場合は、スペースで区切ってください。and又はor検索を指定できます。

② 検索に含めたくないキーワードを指定してください。

③ 検索対象 (タイトルまたは本文又はその両方) を選択してください。

④ 検索対象のガイドラインを選択してください。

※検索画面表示時、デフォルトで全てにチェックが入っています。

④

① 検索キーワード	サイバー	<input checked="" type="radio"/> and <input type="radio"/> or	④ 規程種別	<input checked="" type="checkbox"/> すべてチェック <input type="checkbox"/> チェックを外す
② 除外ワード			<input checked="" type="checkbox"/> 金融機関等コンピュータシステムの安全対策基準・解説書	
③ 検索対象	<input checked="" type="radio"/> 標題と本文 <input type="radio"/> 標題のみ <input type="radio"/> 本文のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 金融機関等のシステム監査基準	

対象の規程種別を選択する場合、右側のスクロールバーを上下に動かして選択してください。

文字種毎の扱いについて

文字の種類	例	扱い
半角と全角	F I S C ・ FISC	別文字として扱います
大文字と小文字	F I S C ・ f i s c	別文字として扱います
ひらがなとカタカナ	ふいすく ・ フィスク	別文字として扱います
全音と半音	フイスク ・ フィスク	別文字として扱います
長音	-	一文字として扱います

2. 操作方法

(4) 検索 (機能説明)

- ① 一覧への表示は、最大20件です。21件以上がヒットした場合は「次の20件」ボタンから次ページ以降を表示してください。
- ② 検索キーワードがハイライト表示されます。
- ③ (注) ページ遷移ボタンを押した際に表示されるのは、当該ガイドライン内の前後の文書です。(次の検索結果ではありません)

①検索結果 (一覧)

②検索結果 (文書)

③ページ遷移 (注)

The screenshot shows the FISC search results page. At the top, there are three tabs: ①検索結果 (一覧), ②検索結果 (文書), and ③ページ遷移 (注). The ① tab is selected. Below the tabs, there is a search bar and a list of search results. The first result is highlighted with a red box, and a red arrow points to it from the ② tab. The ③ tab has a red box around the navigation buttons: 【前の規程に戻る】 and 【次の規程に進む】. A red arrow points to these buttons from the ③ tab. The search results list includes items like '1 内部の統制', '(2) 組織体制', and '統 5 サイバー攻撃対応態勢を整備すること。'. The text 'サイバー' is highlighted in yellow in the search results.

(5) ダウンロード（帳票・関連表等）

- 「改訂内容一覧表」「新旧対照表」、「基準項目一覧」等の一覧表をExcel形式で掲載しています。
- 各ガイドラインの「帳票・関連表等」から必要な帳票をダウンロードの上ご利用ください。

FISC FISCガイドラインサーチ

ガイドライン一覧

金融機関等コンピュータシステムの安全対策基準・解説書 > 帳票・関連表等 > 帳票・関連表等

目次

第1編 「金融機関等コンピュータシステムの安全対策基準・解説書」（第12版）の公表について

第2編 「金融機関等コンピュータシステムの安全対策基準・解説書」（第12版）について

（付表）

奥付

帳票・関連表等

○帳票・関連表等

金融機関等のシステム監査基準

金融機関等におけるコンティンジェンシープラン策定のための手引書（第4版）

金融機関等におけるコンティンジェンシープラン策定のための手引書（第3版、第3版追補、第3版追補2、第3版追補3）

金融機関等におけるセキュリティポリシー策定

全基準項目一覧

第1編II-2 (改訂内容一覧表)

第2編IV-1 (構成一覧)

第2編IV-2 (基準一覧)

(付表) 4 (新旧対照表)

引用規程

該当のリンクをクリックしてダウンロードしてください

2. 操作方法

(6) 検索結果のCSV出力

- 検索結果した結果をCSV形式でダウンロードできます。

※ファイル名は以下の形式となります

“gsearch_yyyymmdd
hhmm_output.csv”

例) 2024年8月1日の
13:27にcsv出力した場合
のファイル名

→ “gsearch_2024080
11327_output.csv”

注) CSVファイルには表や
罫線は出力されません。

The screenshot shows the FISC search results page. At the top, there is a search bar with the keyword 'サイバー' and filters for 'and/or' and '検索対象' (Title and Content). Below the search bar, there are search options and a list of results. A blue arrow points to the '検索結果のCSV出力' button in the search results list. A text box below the arrow says '検索結果のCSVボタンを押下して検索結果をダウンロードしてください'. On the right side of the screenshot, a browser's download bar is visible, showing the file 'gsearch_202408011327_output.csv' being downloaded.

2. 操作方法

(6) 検索結果のCSV出力

➤ 出力されるCSVファイルの内容です。

- ① 出力される項目一覧
- ② 出力されるCSVファイルイメージ

	項目名	内容
①	検索キーワード	入力内容を表示
②	and/or	and/or のいずれかを表示
③	除外ワード	入力内容を表示
④	検索対象	標題と本文/標題のみ/本文のみ のいずれかを表示
⑤	規程種別	選択した規程種別を表示 複数選択時は改行して表示
⑥	階層構造	該当規程が格納されている体系を表示
⑦	階層	該当規程の標題を表示
⑧	本文	該当規程の本文のテキスト情報を表示 (画像は不要)

① CSVファイルに出力される項目

② CSVファイルイメージ

検索キーワード	and/or	除外ワード	検索対象	規程種別	階層構造	階層	本文
クラウド	and		標題と本文	金融機関等コンピュータシステムの安全対策基準・解説書 金融機関等のシステム監査基準 金融機関等におけるコンティンジェンシープラン策定のための手引書 (第4版) 金融機関等におけるコンティンジェンシープラン策定のための手引書 (第3版 追補含) 金融機関等におけるセキュリティポリシー策定のための手引書 金融機関等におけるIT人材の確保・育成計画の策定のための手引書 金融機関等におけるTLPT実施にあたっての手引書 金融機関とAPI接続先のためのAPI接続チェックリスト解説書 RPA導入にあたっての解説書 利用マニュアル	金融機関等コンピュータシステムの安全対策基準・解説書 > 第1編 「金融機関等コンピュータシステムの安全対策基準・解説書」 (第12版) の公表について > 1. 改訂の概要	○1. 改訂の概要	『金融機関等コンピュータシステムの安全対策基準・解説書 (第12版)』 (以下「安全対策基準」という) に係る改訂内容は、以下のとおりである。 1. 改訂の概要 第12版 (2024年3月) 1. ATMの設置形態の多様化に伴う安全対策現在、ATMの設置形態は多様化しており、コンビニだけでなく、駅や空港、ショッピングセンターなどにも設置されている。さらに、移動店舗車のような新しい形態のATMも登場している。これらの変化に伴い、関連する基準を現在の技術に即した内容へと見直した。 2. 降灰対策 一般的な火山噴火の降灰リスク及びその対策を追記した。 3. 最近のシステム障害・サイバーセキュリティ事例を踏まえた対策 金融庁、NISC、経済産業省等から発行された

※行幅はサンプルとして広げておりますので、出力しますCSVファイルは上記の幅ではありません

2. 操作方法

(7) 印刷

①印刷をする場合は
[印刷画面] ボタンを
押してください。

②別タブが開きますので
ブラウザの印刷機能で印
刷してください。

➤ 印刷はページ毎に
行ってください。複数の
ページを一括して
印刷することはできま
せん。

FISC FISCガイドラインサーチ

FISC編内用 (2023.12作成) | ログアウト

① [印刷画面]

ガイドライン一覧

[全て開く] [全て閉じる]

金融機関等コンピュータシステムの安全対策基準・解説書

表紙
第12版の公表にあたって
目次
第1編 「金融機関等コンピュータシステムの安全対策基準・解説書」(第12版)の公表について
第2編 「金融機関等コンピュータシステムの安全対策基準・解説書」(第12版)について

I. 環境

1. 安全対策基準の意義
 - 1. 安全対策基準の意義
2. 安全対策の考え方

II. フレームワーク

III. 本書の利用にあたって

IV. 安全対策基準一覧表

V. 統制基準

VI. 業務基準

金融機関等コンピュータシステムの安全対策基準・解説書 > 第2編 「金融機関等コンピュータシステムの安全対策基準・解説書」(第12版)について > I. 環境 > 1. 安全対策基準の意義 > 1. 安全対策基準の意義

わが国の金融機関等の情報システムは、企業間・個人間におけるネットワーク化に伴う新たな技術・サービスの急速な展開や、クラウド事業者、あるいはFinTech企業[1]と呼ばれる金融関連サービスを提供する事業者の出現による関係者の拡大を反映し、新たな局面を迎えつつある。一方で、ITの進展により、インシデントの発生によるシステム障害が生じた場合の影響が広域化・深刻化するおそれがあること、金融機関等が保有する顧客データ等の重要なデータへのサイバー攻撃が巧妙化・大規模化するおそれがあることなどから、安全対策には多くの経営資源が必要とされている。また、政府が定める重要インフラ[2][4]分野の一つに金融分野が挙げられており、金融関連サービスを重要インフラとして官民が一体となり、重点的に整備することが求められている。

こうした中、金融機関等が使用秩序を維持し、利用者が安心して利用できるサービスを提供するためには、十分な安全対策の実施が不可欠であるが、一方で、金融機関等が顧客の利便性や企業価値[3]を高めるために、限りある経営資源を、安全対策のみならず、新たなサービスを展開するための新規開発等にも適切に配分していくことが重要となる。

金融機関等の情報システムの安全対策は、第一義的には、システムを用いて金融関連サービスを提供する金融機関等の経営判断に基づいて実施されるべきである。そのうえで、リスク[4]が顕在化した場合に社会的に重大な影響を及ぼすシステムと、それ以外のシステムにおいては、それぞれのリスク特性に応じた安全対策の目標を設定することが妥当と考えられる。そこで、『金融機関等コンピュータシステムの安全対策基準・解説書』では、安全対策基準の適用においてリスクベースアプローチの考え方を取り入れ、金融機関等のよりどころとなる現実的かつ効果的な安全対策の考え方を示すこととした。

また、金融機関等の情報システムに対する安全対策の実施主体が金融機関等にどまらず、外資の参入にも拡大しており、クラウドサービスを重要な情報システムで利用する場合や、FinTech企業が提供する金融関連サービスとの新たな関係を踏まえた安全対策の在り方を考える必要が生じてきた。本書では、金融機関等の内部に対する統制と外部に対する統制の在り方を示すとともに、これらの統制のもとで実施すべき実質的な基準との関係を示すこととした。

本書は、公益財団法人金融情報システムセンター（以下、「当センター」という。）に設けられた学識経験者、金融機関等及びコンピュータメーカー、クラウド事業者、FinTech企業等の専門的知識を有する安全対策専門委員及び検討委員によって審議され、その結果を取りまとめて作成されたものである。

本書が業務内容やその重要度に応じて実施すべき安全対策の指針となること、各社がコンピュータシステムの状況に即して漸次実施し得る内容となっていることを勘案し、金融業務を営む各社が、本書を参考にしながら適切な安全対策を実施することが期待される。

第12版の公表にあたって

②

金融情報システムは、金融機関等の事業を支える基盤であると同時に、経済社会の運営、さらには国民生活の安定と発展に不可欠なテクノロジーの進化によって大きな変革を遂げています。加えて、金融機関等の業務及び組織運営、さらには金融ビジネスそのものの進化に伴って、金融情報システムが直面する脅威とリスクも変化し、一段と高まっています。システムリスク管理は引き続き優先度の高い課題として、規模の大小に関わらず全ての金融機関等が攻撃の対象となる可能性があるもとの、サイバーセキュリティ対策の底上げを進める。金融機関等においては、経営戦略とIT戦略を一体化したITガバナンスのもと、適切なIT投資を行い、新しい技術を取り入れつつ、そのうえで、適切なシステムリスク管理と強固なセキュリティ対策、厳正なシステム監査、さらには計画的な人材確保及び当センターが策定する「金融機関等コンピュータシステムの安全対策基準・解説書」は、1985年12月に初版を発行して以来、IT法の進化、規制の改訂など、環境の変化に適切に対応するため、改訂を重ねてきました。本基準は、金融機関等の情報システムが今回の改訂では、ATMの設置形態の多様化に伴う安全対策、火山噴火による降灰への対策、さらには、最近のシステム障害・サイバー攻撃の発生を踏まえ、2023年10月以降、安全対策専門委員会、及び安全対策基準改訂に関する検討部会において議論を重ねた結果、2024年3月に「第12版の公表」として改訂案にご意見を寄せいただいた会員の皆様、厚く御礼申し上げます。

私どもは、本基準が金融機関等の情報システムに関する安全対策の具体的な指針として一層積極的に活用され、皆様のお役に立

2024年3月

3. ご利用にあたって

(1) ご利用可能時間

- FISCガイドラインサーチは、24時間365日ご利用いただけます。
- メンテナンス等のため停止する場合があります。停止する場合は、事前にFISCホームページとFISCガイドラインサーチのトップページにお知らせを掲載します。

(2) 推奨環境

- FISCガイドラインサーチは、Windows上で稼働する下記ブラウザでの利用を推奨しています。Windows以外のOS上での稼働については保証していません。

Microsoft Edge 最新版

Mozilla Firefox 最新版

Google Chrome 最新版

(3) 注意事項

- 複数のタブで同時に利用しようとすると、エラーが発生することがあります。単一タブ上でご利用ください。

(4) 問い合わせ先

- FISCガイドラインサーチに関するお問い合わせは下記までお願いします。

金融情報システムセンター 監査安全部

TEL : 03-5542-6054

Email : fisc50@fisc.or.jp

(5) FAQ

Q	A
FISCガイドラインサーチのサイトにアクセスできない	金融機関等によっては、サイトの閲覧制限などが設定されている場合があります。 FISCガイドラインサーチのサイトはFISCホームページとは別サイトになるため、サイトの閲覧許可を設定してください。
複数名でIDを利用しても問題ないか	同一の企業・団体とその子会社の社員の方であれば利用いただいて問題ありません。また、同時ログイン数などの制約はありません。 業務委託先等組織外の第三者の利用はご遠慮ください。
ID・パスワードは定期的に変更されるか	1年おきに変更となります。毎年9月にホームページの会員専用サイトのID・パスワードとあわせてご連絡する予定です。非会員の方は購入の翌年末まで同一のID・パスワードでご利用いただけます。 有効期間終了後にご利用される場合は再度購入をお願いします。継続購入時点の価格を代金として申し受けます。
各種チェックリストのダウンロードは可能か	「帳票・関連表等」からのダウンロードの他に「テーマ別検索（安全対策基準）と部門検索（システム監査基準）からダウンロードしていたリストのダウンロードが可能です。詳細は本資料12ページをご覧ください。
ガイドライン英訳版の収録予定はあるか	予定はありません。